

令和3年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) 三木市立広野幼稚園

観点	③自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いをなかなか伝えられない子、友達の思いに流されてしまう子、自分の思いばかりが先行する子など、発達段階や家庭環境の違いで様々な子がいる。</li> <li>・自分の思いを伝える機会を意図的に作っているが、少人数のため園内で経験できることが限られている。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が安心感を持って園生活を送り、自分の思いを素直に表したり、気持ちを調整したりして、友達と一緒に過ごす楽しさを味わう。</li> </ul>
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の表現や話を、まずは肯定的に受け止める。</li> <li>・言われてうれしい言葉、やさしいかわりを”ふわふわ”反対を”ちくちく”という言葉で表し、”ふわふわ”のかかわりをまずは教師が見つけ、クラス全体に知らせたり、認めたりして、友達の良さを認めあえるクラス作り、仲間作りをする。</li> <li>・「共有シート」を活用して、それぞれの教師の見方や感覚の交流、支援の方向性を共通理解し、教師自身の人権感覚を磨く。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを全体の場で伝える場を意識的に作ったことや、交流遊び、給食交流など2クラス合同で過ごす時間を多く持ったことで、伝わった喜びや自分の居場所が分かり安心感や自信につながった。また、教師も肯定的に受け止めたり、いろいろな子の意見を聞くように意識できていった。</li> <li>・どの子にもイメージしやすい言葉で、思いが伝わりやすくなった。</li> <li>・教師間で同じ場面を共有することで感覚の交流ができ、それぞれの支援の幅や引き出しが増えた。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの子どもに対して、どのような保育内容が適切か、園内で常に話し合いが行われ、より良い手立てを探っている。研修にも積極的に参加されており、資質向上という点では組織的な取組が行われている。保育者それぞれの見方・考え方をしっかりと表現しつつ、園全体で保育の質を高めようとしている。</li> <li>・一人一人の子どもに親身に寄り添う姿が保護者にも伝わっている。登降園時にも気軽に話ができる雰囲気があり、保護者への伝達が行われている。保育内容と子どもの育ちが関連づけられて発信されており、子ども同士の関係性も含めて、理解が進んでいると思われる。</li> </ul>